

平成 28 年度実績に係る部局評価書

部局名: 文学部・文学研究科

【評価区分1】 部局年度計画に係る 自己評価に対する評価	【評価区分2】 「全学的に重視する指標」に おける年度毎の状況評価】	【総合評価】 評価区分1及び評価区分2 に基づく評価
A	A	A

【評価区分1:部局年度計画に係る自己評価に対する項目別評価】

項目	評 定	コメント(評定に至った理由)
【教育】	A	28年度計画に対して達成状況が良好であることが認められる。
【研究】	A	28年度計画に対して達成状況が良好であることが認められる。 「くずし字学習支援アプリ(KuLA)」の自習用図書を当研究科教授が執筆・ 刊行するなど、研究成果の社会への展開も積極的に進められている。
【社会貢献】	A	28年度計画に対して達成状況が良好であることが認められる。
【グローバル化】	S	28年度計画に対して達成状況が優れていることが認められる。 グローバル人材育成のため、新たに雇用した海外での学位取得教員によ る「アカデミック・ライティング」を開講するとともに、大学院等高度副プログラム での「グローバル・ジャパン・スタディーズ」のプログラム提供を進めたことが評 価できる。
【業務運営】	A	28年度計画に対して達成状況が良好であることが認められる。